

# 令和5年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 真庭市結果について

## I はじめに

### －語り合いで「共」に「育」ち合う仕組みを創る－

真庭市の小中学校では、「確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成」を目指して、郷育を核としたキャリア教育、個性や能力が輝くインクルーシブ教育を軸とした、教育活動を推進しています。

毎年実施される全国及び岡山県学力・学習状況調査については、その結果を基に、検証・改善・実践のサイクルを確立し、各校における取組の進捗状況を検証する1つの指標として活用しています。

真庭市が目指す子どもの姿の実現を目指して、学校、家庭、地域が一体となって、子どもを確かに育む取組を推進するために、本調査結果を公表します。

## II 調査の概要

### 全国学力・学習状況調査

#### 1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持・向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査の対象

- ・市内小学校第6学年児童（20校 311名）
- ・市内中学校第3学年生徒（6校 375名）

#### 3 調査の内容

##### ア 教科に関する調査

(ア) 小学校：国語・算数 中学校：国語・数学・英語

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下の通り

1.身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

2.知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

##### イ 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

(「児童生徒に対する調査」 「学校に対する調査」)

#### 4 調査実施日

- ・令和5年4月18日（火）

Ⅲ 進捗状況	<p align="center">－ 真庭市が目指す学校教育の姿と現状を結ぶ－ 【全国（小6/中3）県（小5/中2）調査より】</p>
<p>郷育を核としたキャリア教育を通して「<b>未来を切り拓く子</b>」を育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の住んでいる地域が好きである。」という児童生徒の割合は、県平均を小中学校ともに上回っており、「今住んでいる地域の行事に参加していますか?」という問いでも小中学校ともに全国値を上回っている。</li> <li>◆総合的な学習の時間を中心としたふるさと学習を通して、児童生徒の地域に対する誇りや愛着を醸成するとともに、「地域や社会」に対する貢献意欲を高めることができている。</li> <li>◆与えられた課題だけでなく、自ら課題を設定しその解決に向けて取り組むといった探究的な学習を繰り返しながら、学習の質を高める取組を推進していく。</li> </ul>
<p>個性や能力が輝くインクルーシブ教育により「<b>共生社会の担い手</b>」を育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人が困っているときは、進んで助ける」という児童・生徒の割合が、県平均、全国値ともに上回っている。</li> <li>◆共生社会の実現に向けて、互いの人格と個性を尊重し支え合い、違いを認め合いながら成長していくための豊かな心が育まれている。</li> </ul>
<p>確かな学力を育む<b>学習基盤</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」（主体的な学び）については、小中学校とも県平均、全国値を上回っている。</li> <li>・「学級の友達との話し合いを通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」（対話的で深い学び）でも小中学校とも全国値を上回っている。</li> <li>・ICT機器の使用頻度は、小中学校ともに全国値を上回っている。</li> <li>・学習時間の増減については学年によって傾向が異なるが、県平均、全国値を下回っている。</li> <li>◆新学習指導要領に沿った授業改善は進んでいるが、学習の確実な定着に課題が見られる。</li> </ul>
<p>確かな学力</p>	<p><b>【全国調査（小6/中3）より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校ともに前年度より全国値との差が縮まった。小6国語については、全国値を上回った。</li> </ul> <p><b>【県調査（小3・4・5/中1・2）より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3年生算数で全国値を上回った。</li> <li>・小中学校ともに、全国値を下回る科目が多くなっている。</li> <li>◆全国・県調査から、特に算数・数学及び英語について、学習内容の確実な定着が課題である。</li> </ul>

## Ⅳ 平均正答率の状況

全国調査（小6／中3）

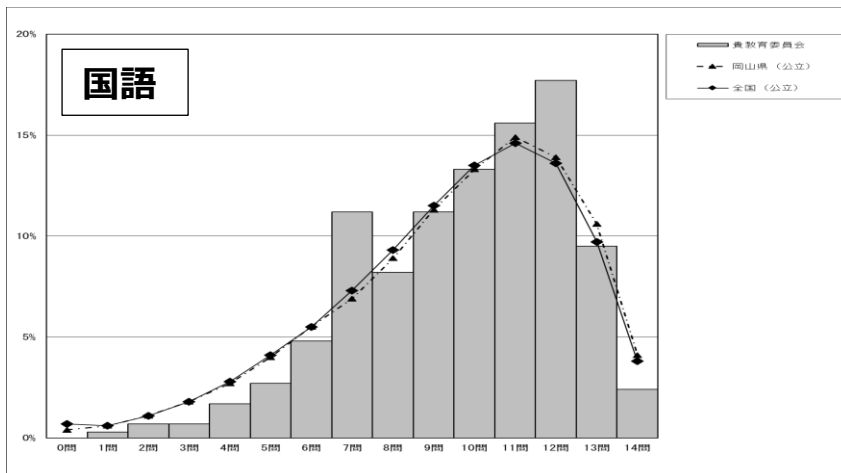
### 小学校平均正答率の状況

項目		国語	算数
令和5年度 平均正答率	真庭市	69	62
	岡山県	68	61
	全国	67.2	62.5
	全国との差	1.8	-0.5

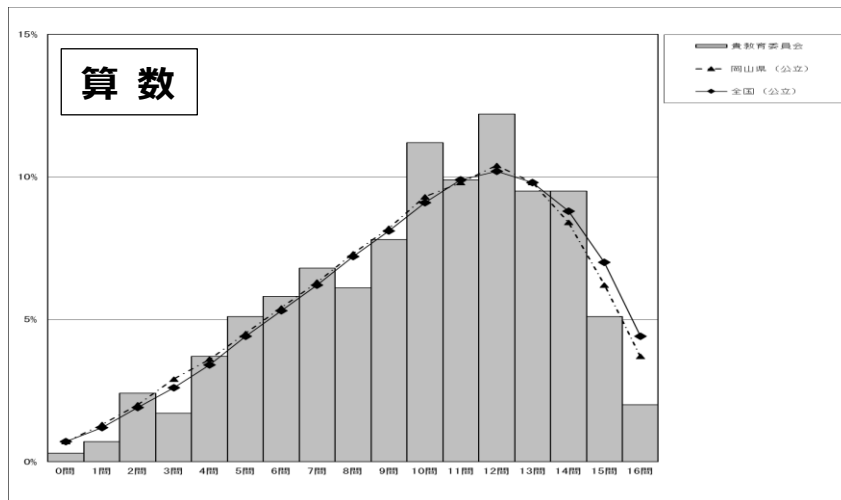
### 【参考：令和4年度の結果】

項目		国語	算数	理科
令和4年度 平均正答率	真庭市	65	59	62
	岡山県	67	62	64
	全国	65.6	63.2	63.3
	全国との差	-0.6	-4.2	-1.3

### 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



- 正答数分布は全国や県とほぼ同じであるが、正答数の少ない児童の割合は全国や県より低い傾向にあった。
- 特に、言葉の特徴や使い方に関する事項の知識・技能は全国や県より高かった。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表す力に課題が見られる。



- 全国や県とほぼ同じ傾向である。
- グラフ等のデータを用いた問いに対しては、全国や県の回答率を上回っていた。
- 図形の意味や性質について答える力や性質を用いて面積を求める力に課題が見られる。

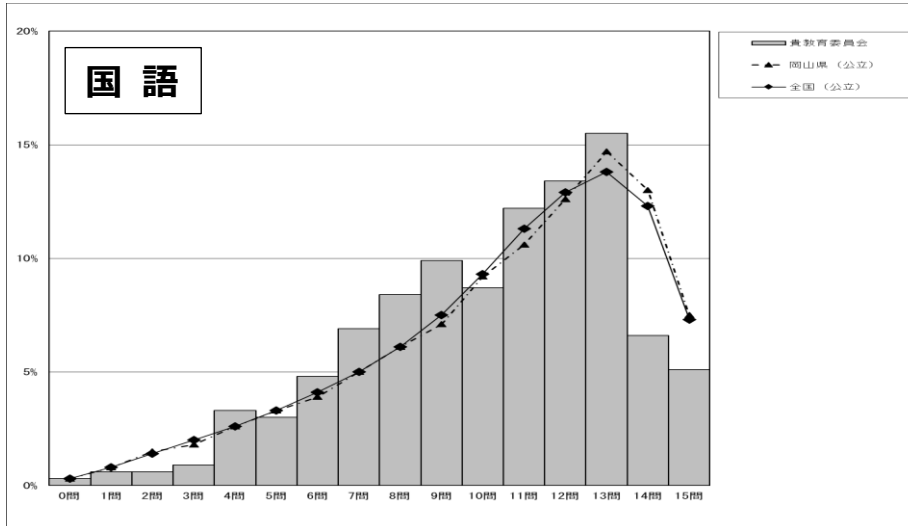
## 中学校平均正答率の状況

項目		国語	数学	英語
令和5年度 平均正答率	真庭市	68	44	38
	岡山県	70	51	44
	全国	69.8	51	45.6
	全国との差	-1.8	-7.0	-7.6

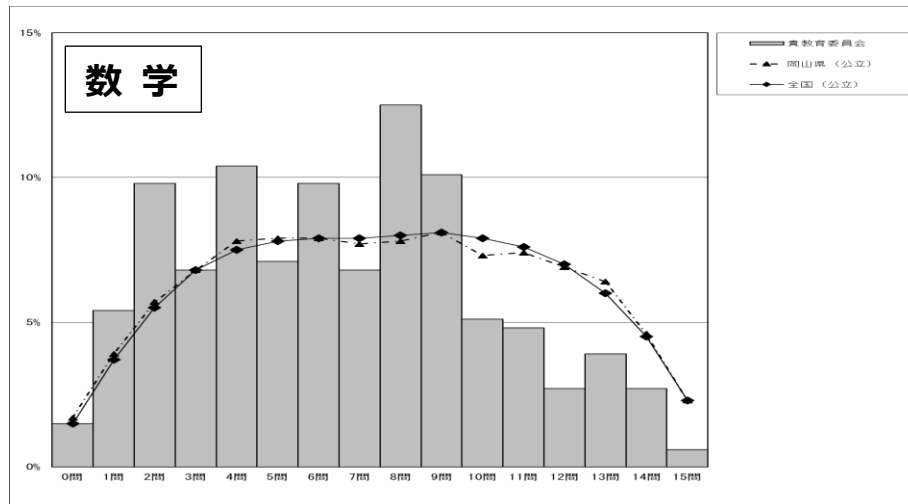
## 【参考：令和4年度の結果】

項目		国語	数学	理科
令和4年度 平均正答率	真庭市	67	43	45
	岡山県	69	51	49
	全国	69	51.4	49.3
	全国との差	-2.0	-8.4	-4.3

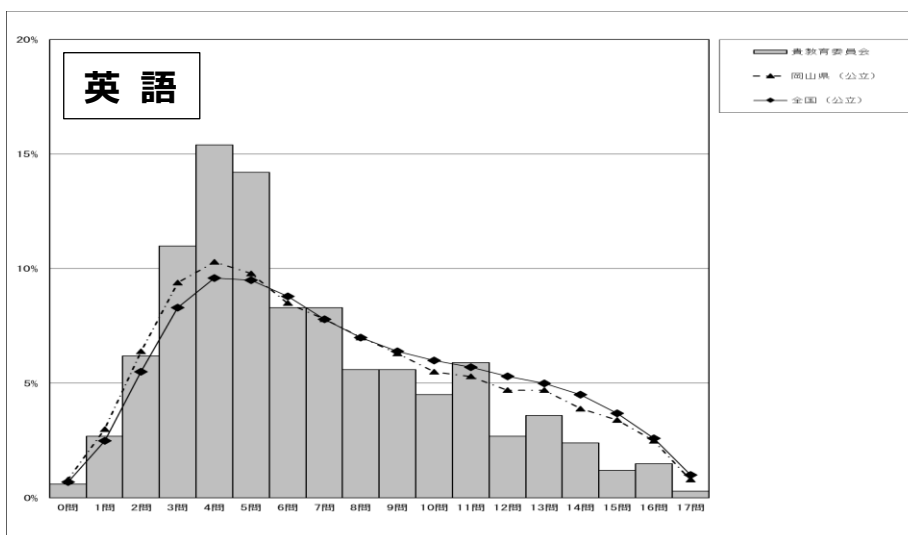
## 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



- 全国や県とほぼ同じ傾向である。
- 言葉の特徴や使い方に関する事項の知識・技能は全国や県より高かった。
- 読み手の立場に立って、文章を整える（書き直す）力に課題が見られる。



- 正答数分布から学習の定着に課題が見られる。
- 数と式、図形分野において課題が見られる。
- 特に、自然数や除法の計算や図形の合同の証明において課題が見られる。
- 基本事項の定着に課題が見られる。



- 正答数分布から学習の定着に課題が見られる。
- 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして文を完成させる力に課題が見られる。
- 基本事項の定着に課題が見られる。

## V 調査の概要

## 岡山県学力・学習状況調査

### 1 調査の目的

個々の児童生徒の学力・学習の状況を全国比較及び経年比較することにより、教科指導や教育施策の改善を図る。

### 2 調査の対象と内容

	小学校（20校）			中学校（6校）	
	第3学年	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
市内受験者数	342人	297人	343人	333人	312人
県内受験者数	9,146人	9,168人	9,336人	9,602人	9,218人
全国受験者数	約8万人	約11万人	約12万人	約9万人	約10万人
実施教科等	国語、算数	国語、算数	国語、算数 質問紙	国語、数学 英語、質問紙	国語、数学 英語、質問紙

### 3 調査実施日

・令和5年4月18日（火）

## VI 平均正答率の状況

## 県調査（小3・4・5／中1・2）

項目	小3		小4		小5	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
真庭市	72.1	75.1	69.9	69.5	67.3	60.1
県	72.9	76.8	70.4	71.5	69.4	63.5
国	72.5	74.6	70.8	71.9	70.0	67.1

項目	中1			中2		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語
真庭市	58.0	61.4	82.3	63.0	51.0	43.1
県	61.4	66.3	83.0	65.3	54.6	46.9
全国	59.2	65.8	82.7	63.9	53.4	46.1

## 平均正答率の比較【基礎・活用】

### 小学校の結果

学年	国語			算数			項目	正答率	差
	正答率	基礎	活用	正答率	基礎	活用			
第3学年	真庭市	72.1	79.1	58.3	75.1	80.9	国語	正答率	-0.4
	岡山県	72.9	79.1	60.4	76.8	82.1	国語	基礎	-0.9
	全国	72.5	80.0	57.6	74.6	80.3	国語	活用	0.7
	全国との差	-0.4	-0.9	0.7	0.5	0.6	算数	正答率	0.5
							算数	基礎	0.6
第4学年	真庭市	69.9	75.0	58.5	69.5	73.9	算数	活用	0.4
	岡山県	70.4	75.3	59.2	71.5	75.5	国語	正答率	-0.9
	全国	70.8	75.8	59.7	71.9	76.0	国語	基礎	-0.8
	全国との差	-0.9	-0.8	-1.2	-2.4	-2.1	国語	活用	-1.2
							算数	正答率	-2.4
						算数	基礎	-2.1	
						算数	活用	-3.5	

第5学年	国語			算数		
	正答率	基礎	活用	正答率	基礎	活用
<b>真庭市</b>	<b>67.3</b>	<b>71.9</b>	<b>57.0</b>	<b>60.1</b>	<b>64.5</b>	<b>51.6</b>
岡山県	69.4	73.7	59.8	63.5	67.1	56.7
全国	70.0	74.5	59.7	67.1	71.2	59.3
全国との差	<b>-2.7</b>	<b>-2.6</b>	<b>-2.7</b>	<b>-7.0</b>	<b>-6.7</b>	<b>-7.7</b>

国語	正答率	-2.7
	基礎	-2.6
	活用	-2.7
算数	正答率	-7
	基礎	-6.7
	活用	-7.7

## 中学校の結果

第1学年	国語			数学		
	正答率	基礎	活用	正答率	基礎	活用
<b>真庭市</b>	<b>58.0</b>	<b>64.2</b>	<b>46.3</b>	<b>61.4</b>	<b>63.9</b>	<b>54.5</b>
岡山県	61.4	67.1	50.7	66.3	68.1	61.1
全国	59.2	64.0	49.9	65.8	67.5	61.0
全国との差	<b>-1.2</b>	0.2	<b>-3.6</b>	<b>-4.4</b>	<b>-3.6</b>	<b>-6.5</b>

国語	正答率	-1.2
	基礎	0.2
	活用	-3.6
数学	正答率	-4.4
	基礎	-3.6
	活用	-6.5
英語	正答率	-0.4
	基礎	-0.4
	活用	-0.4

第1学年	英語		
	正答率	基礎	活用
<b>真庭市</b>	<b>82.3</b>	<b>82.5</b>	<b>81.5</b>
岡山県	83.0	83.3	82.1
全国	82.7	82.9	81.9
全国との差	<b>-0.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.4</b>

第2学年	国語			数学		
	正答率	基礎	活用	正答率	基礎	活用
<b>真庭市</b>	<b>63.0</b>	<b>68.5</b>	<b>52.6</b>	<b>51.0</b>	<b>57.9</b>	<b>31.3</b>
岡山県	65.3	70.1	56.3	54.6	60.9	36.4
全国	63.9	68.7	54.8	53.4	59.5	35.9
全国との差	<b>-0.9</b>	<b>-0.2</b>	<b>-2.2</b>	<b>-2.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>-4.6</b>

国語	正答率	-0.9
	基礎	-0.2
	活用	-2.2
数学	正答率	-2.4
	基礎	-1.6
	活用	-4.6
英語	正答率	-3
	基礎	-2.4
	活用	-4.6

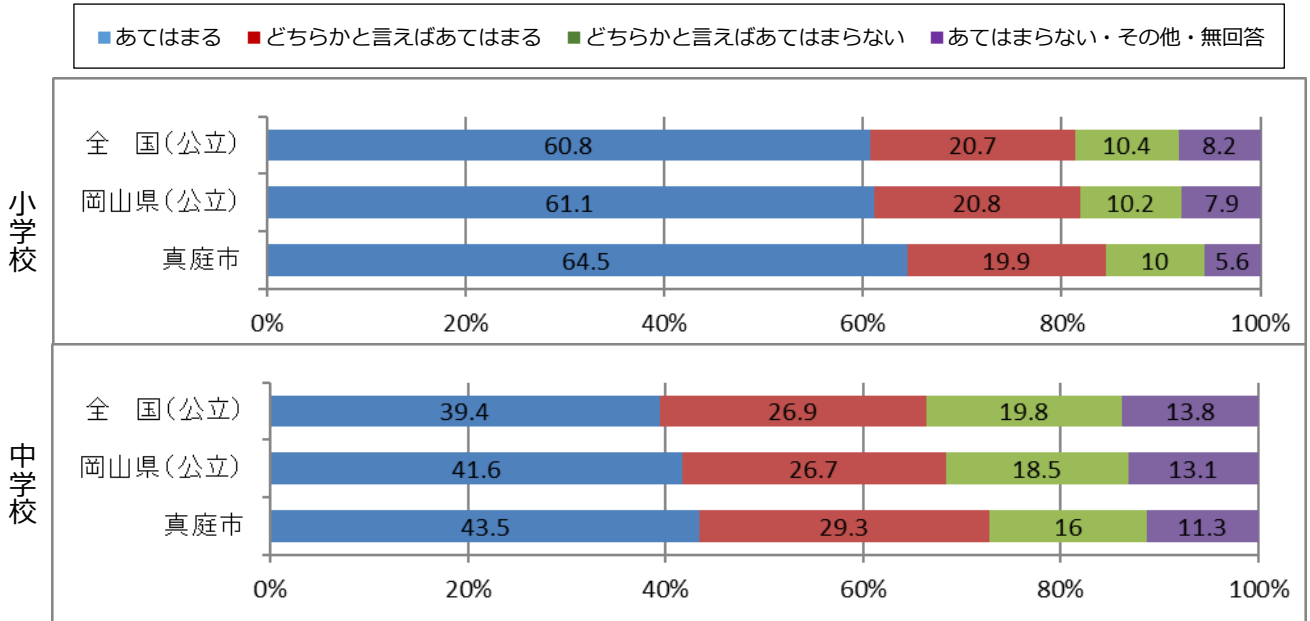
第2学年	英語		
	正答率	基礎	活用
<b>真庭市</b>	<b>43.1</b>	<b>50.1</b>	<b>26.9</b>
岡山県	46.9	53.2	32.3
全国	46.1	52.5	31.5
全国との差	<b>-3.0</b>	<b>-2.4</b>	<b>-4.6</b>

- 小3算数においては、基礎・活用共にわずかではあるが全国平均を上回っている。
- 国語については、全国平均とほぼ同じ正答率の学年が多くなっている。
- 国語は全体として、全国平均との差は大きくはないものの、「書くこと」に苦手さがある。平均すると2～3割の無解答率となっている。
- 算数・数学については、基礎的な学習の定着に課題が見られる。特に、小5、中1に関しては、図形、グラフの読み取り、数と式の分野で全国との差が大きい。
- 英語については、「書くこと」に課題が見られる。特に、自分に関することを理由を交えて作文することにおいては、誤答率、無解答率が高くなっている。

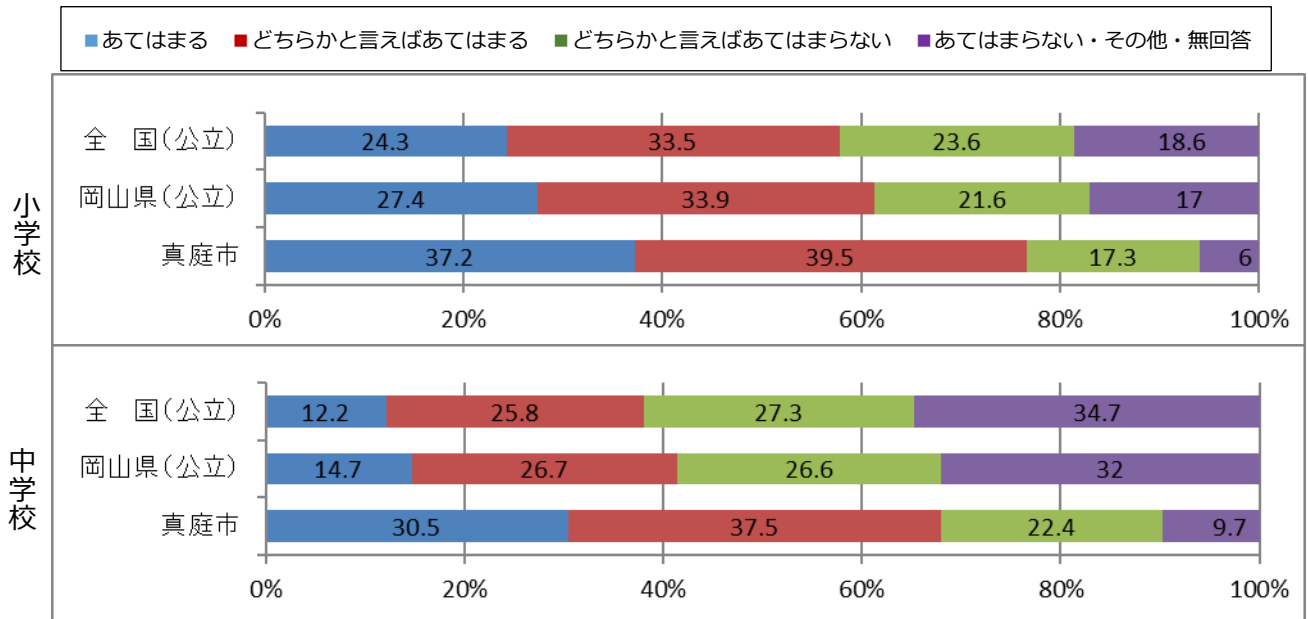
## Ⅶ 質問紙調査結果概要（全国調査）

### ◆郷育を核としたキャリア教育を通して「未来を切り拓く子」を育む

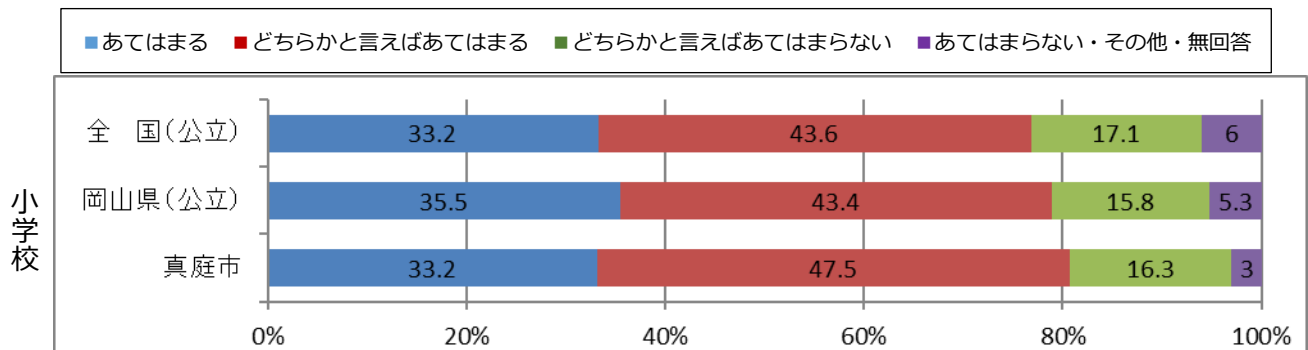
【質問項目】 将来の夢や目標を持っていますか

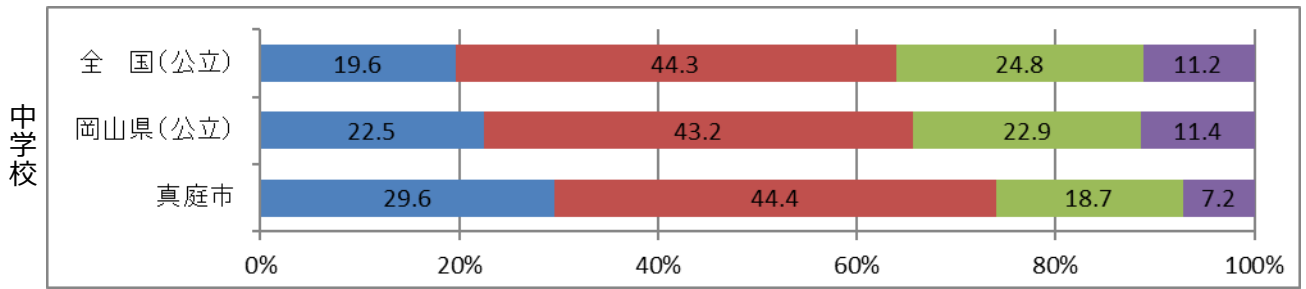


【質問項目】 今住んでいる地域の行事に参加していますか



【質問項目】 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

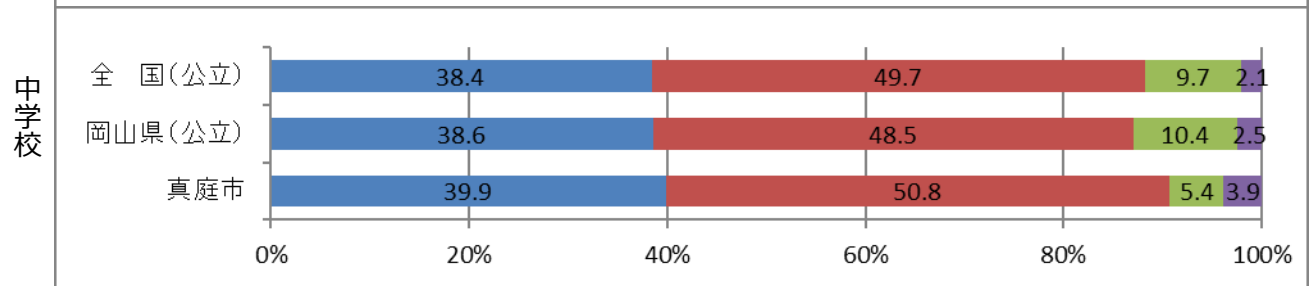
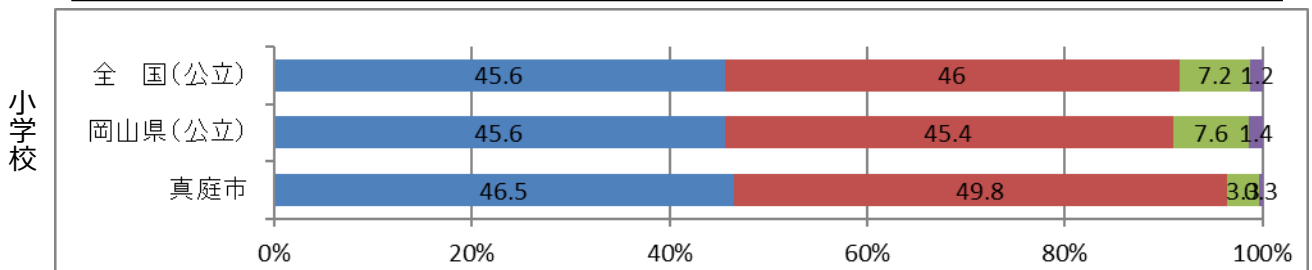




## ◆個性や能力が輝くインクルーシブ教育により「共生社会の担い手」を育む

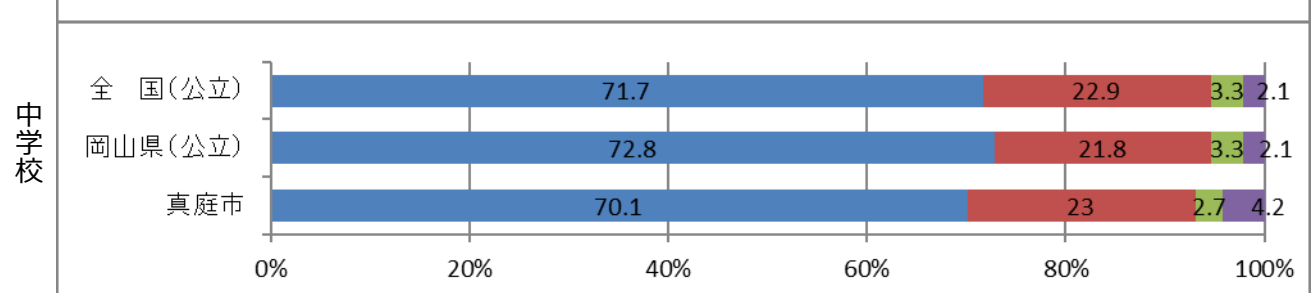
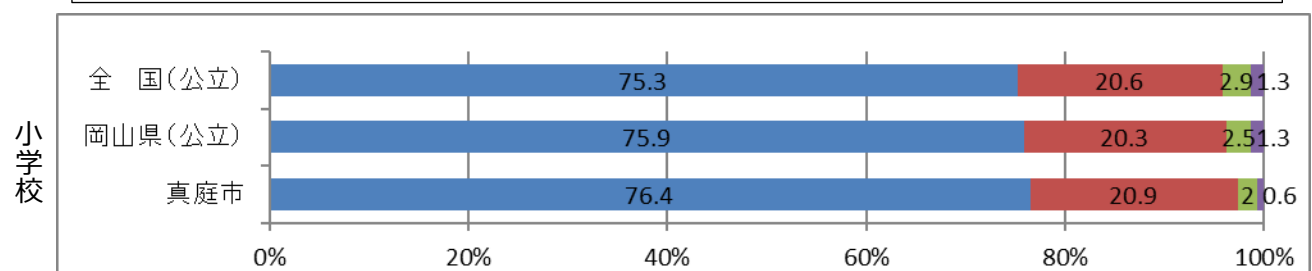
【質問項目】人が困っているときは、進んで助けていますか

■ あてはまる ■ どちらかと言えばあてはまる ■ どちらかと言えばあてはまらない ■ あてはまらない・その他・無回答



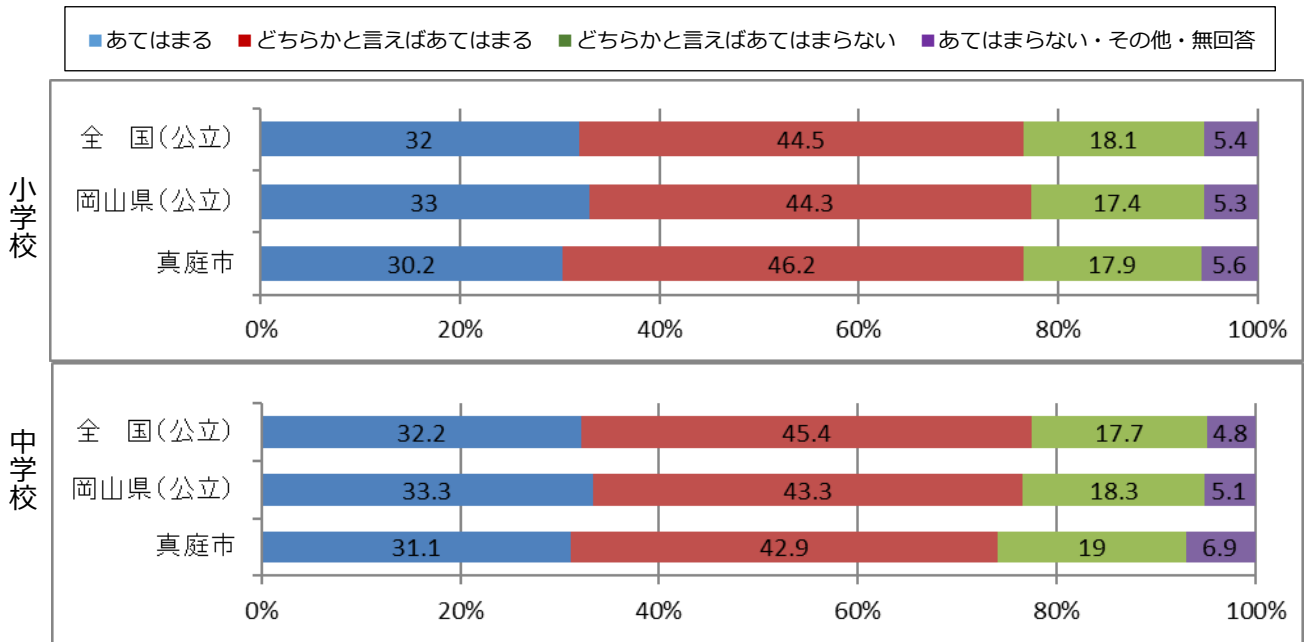
【質問項目】人の役に立つ人間になりたいと思いますか

■ あてはまる ■ どちらかと言えばあてはまる ■ どちらかと言えばあてはまらない ■ あてはまらない・その他・無回答



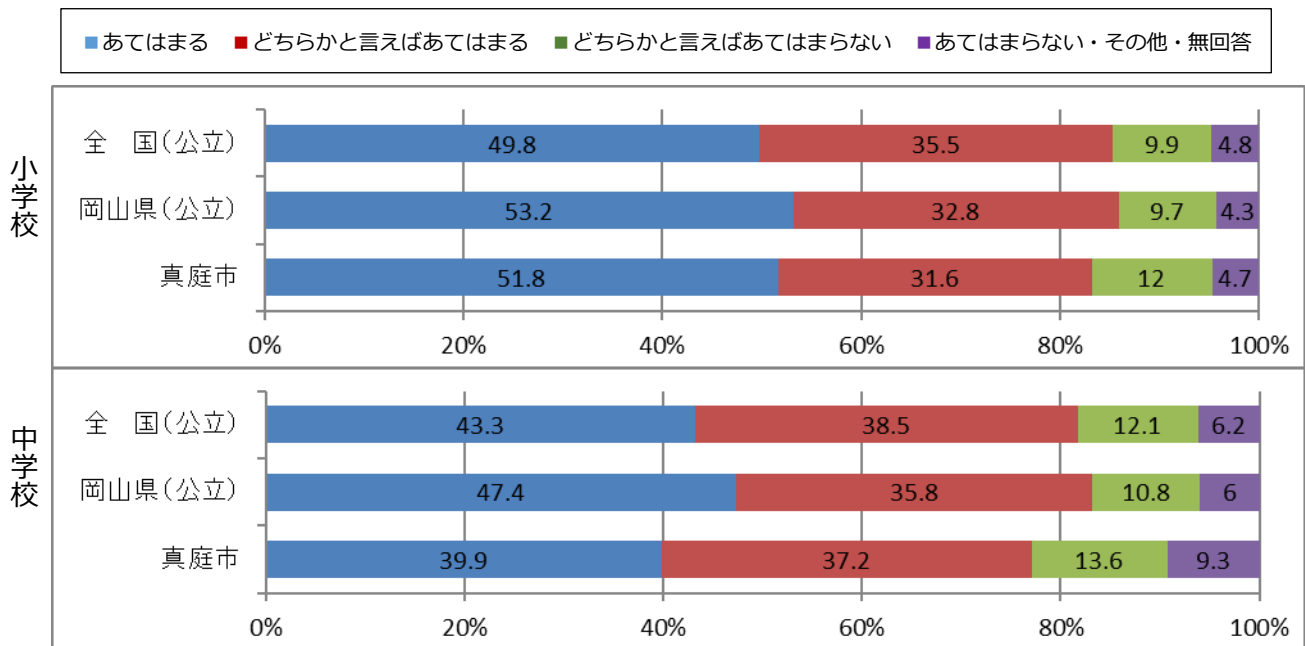


【質問項目】自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

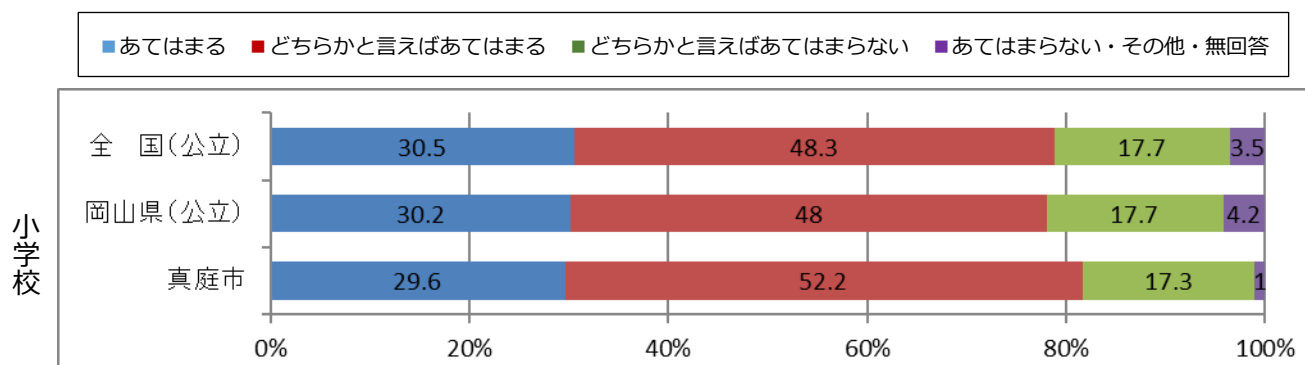


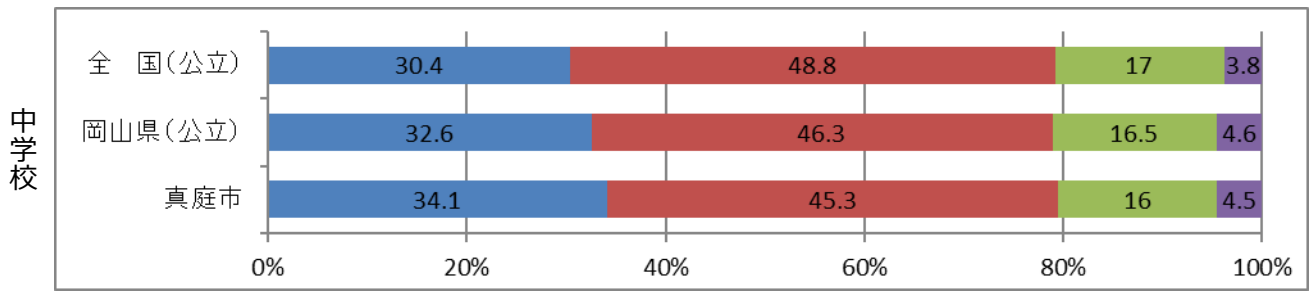
確かな学力を育む学習基盤

【質問項目】学校に行くのは楽しいと思いますか

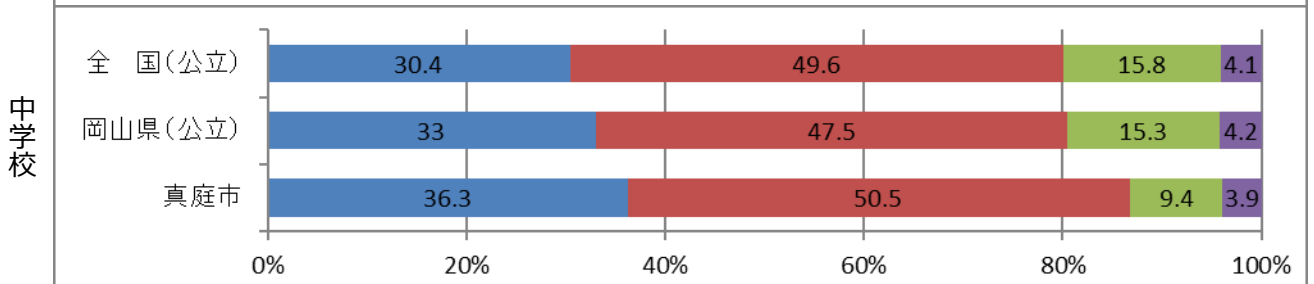
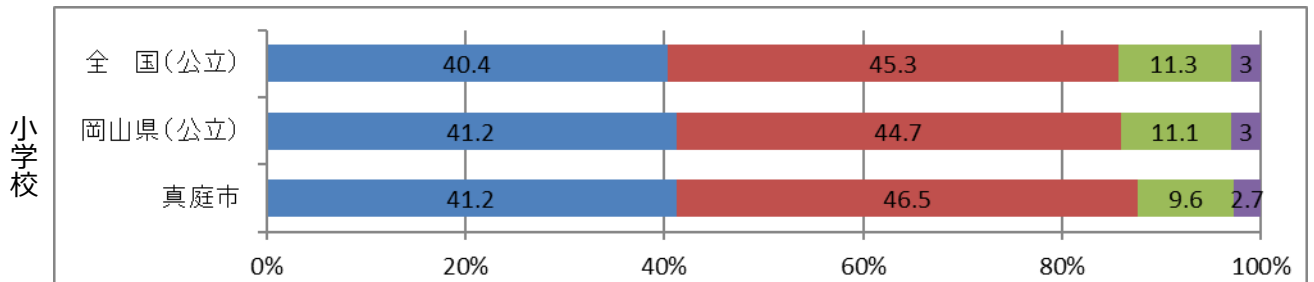
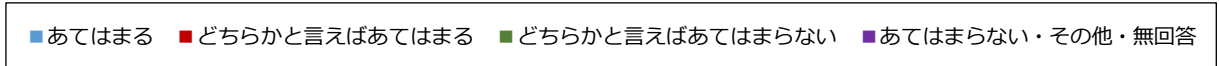


【質問項目】小学校5年生・中学校1・2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

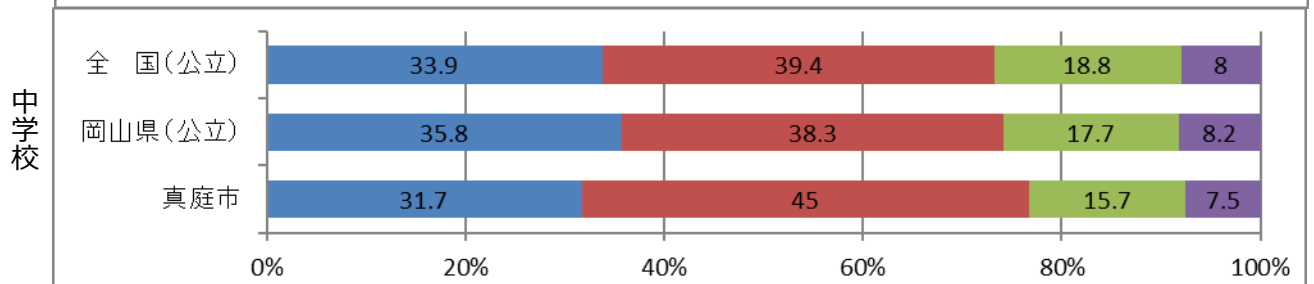
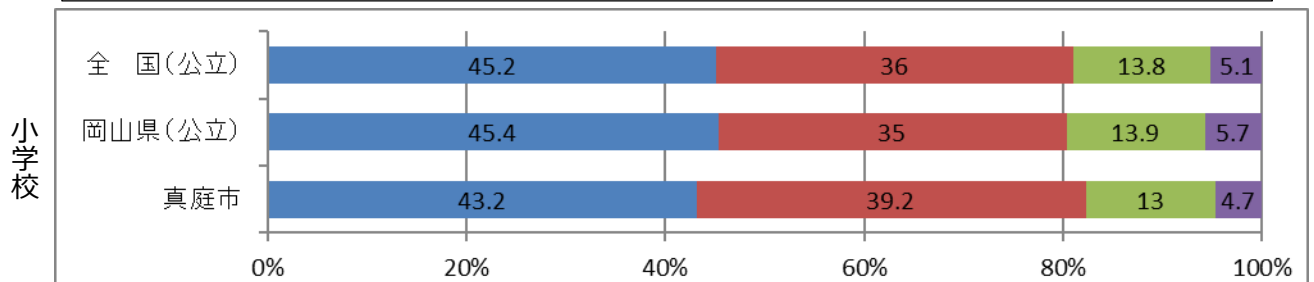
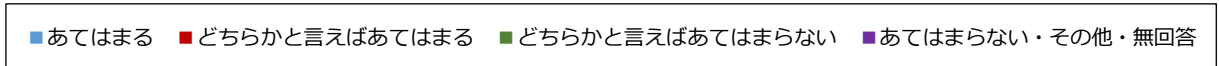




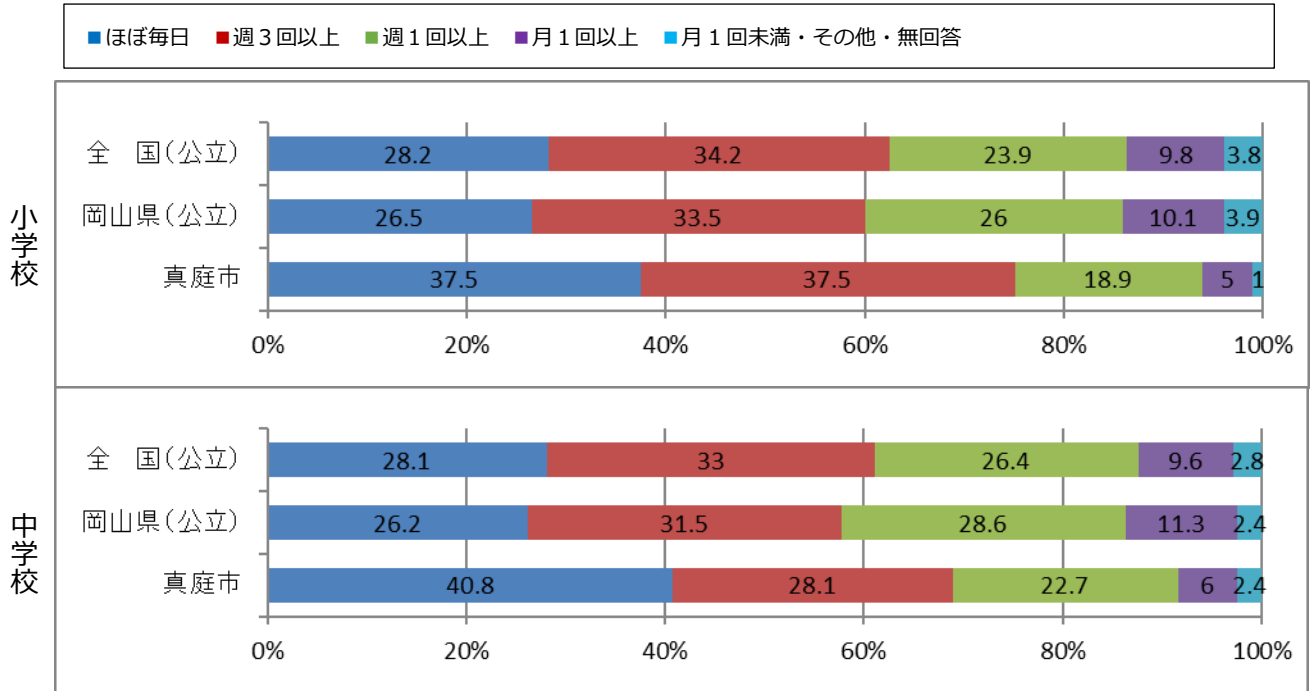
**【質問項目】 国語の授業の内容はよく分かりますか**



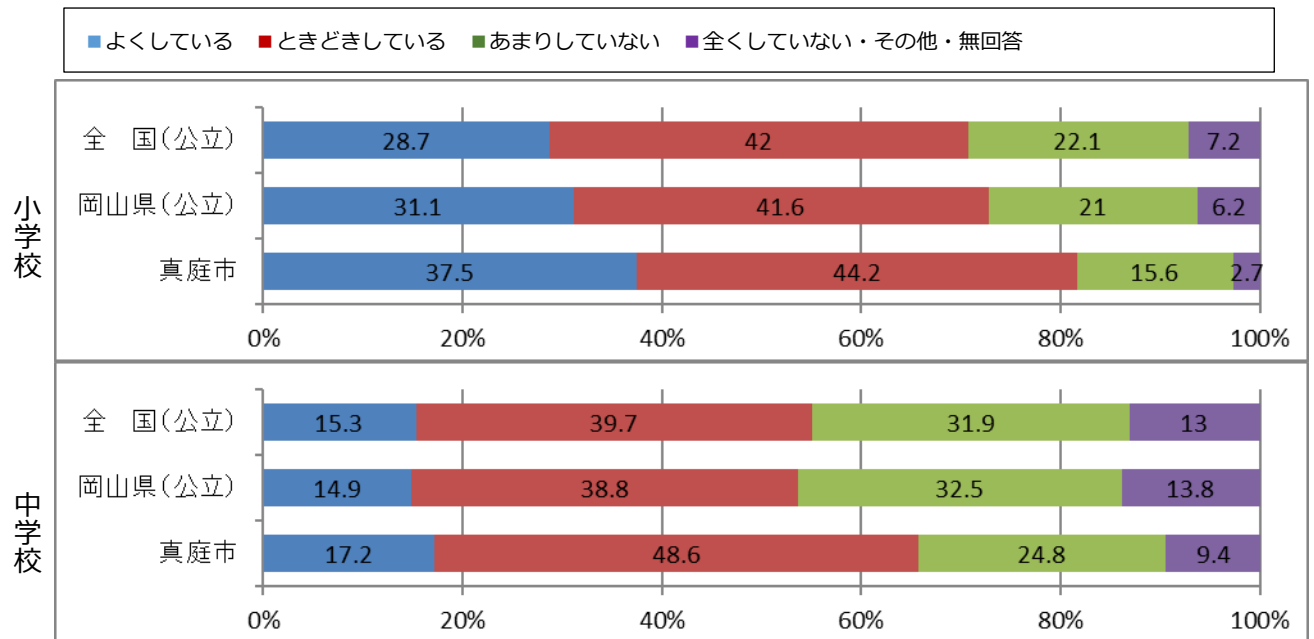
**【質問項目】 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか**



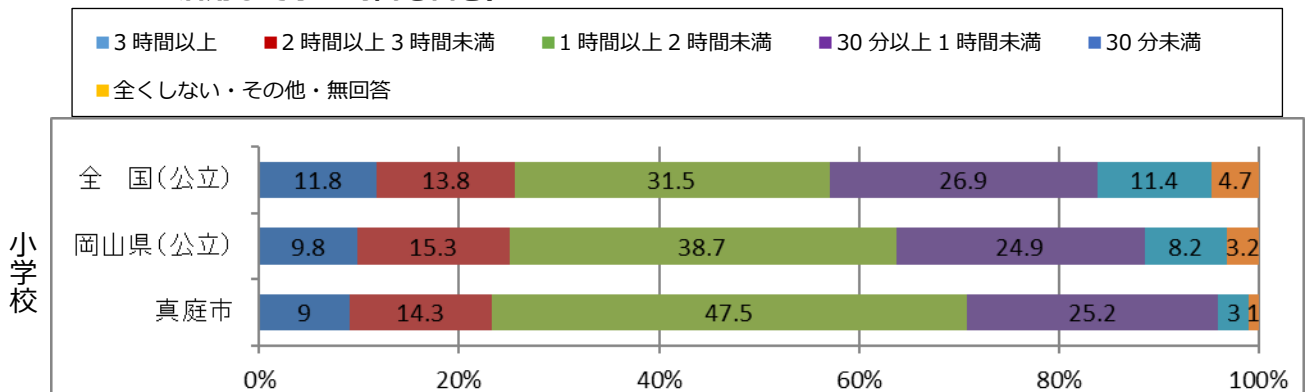
**【質問項目】 5年生・中学校1・2年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか**

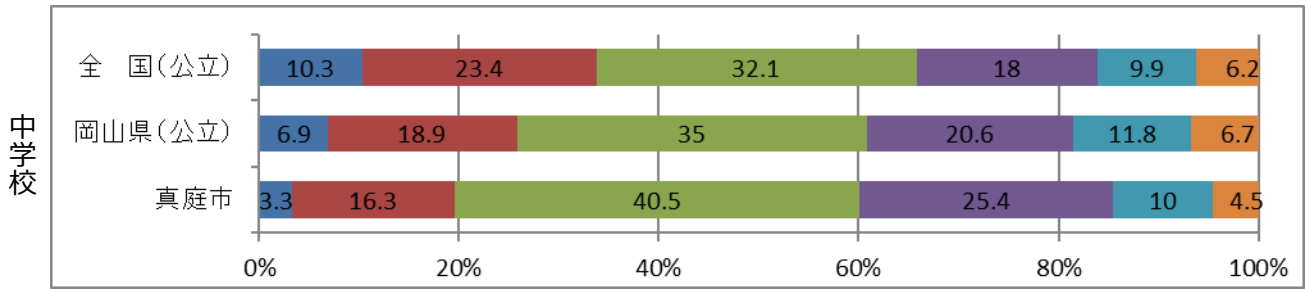


**【質問項目】 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか**



**【質問項目】 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）**



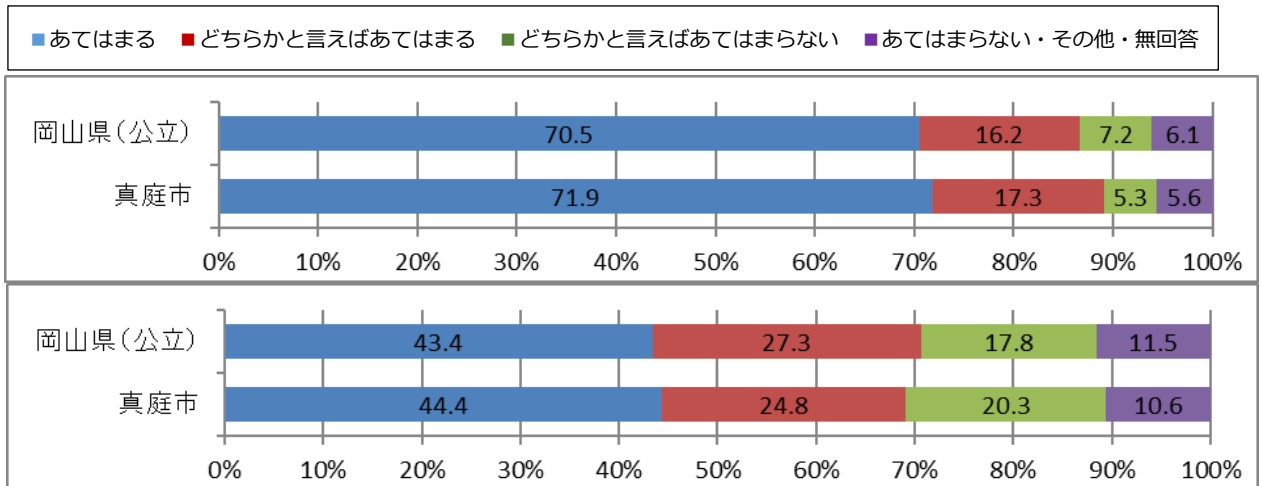


## Ⅷ 質問紙調査結果概要（県調査）

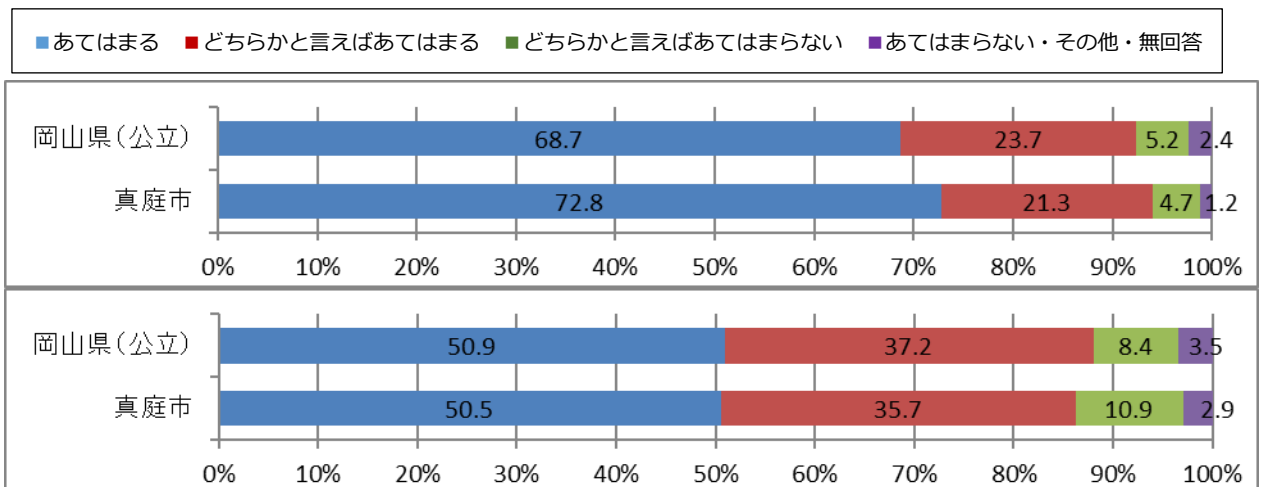
### ◆郷育を核としたキャリア教育を通して、「未来を切り拓く子」を育む

※以下の質問調査は、小学校5年生、中学校2年生の回答の状況

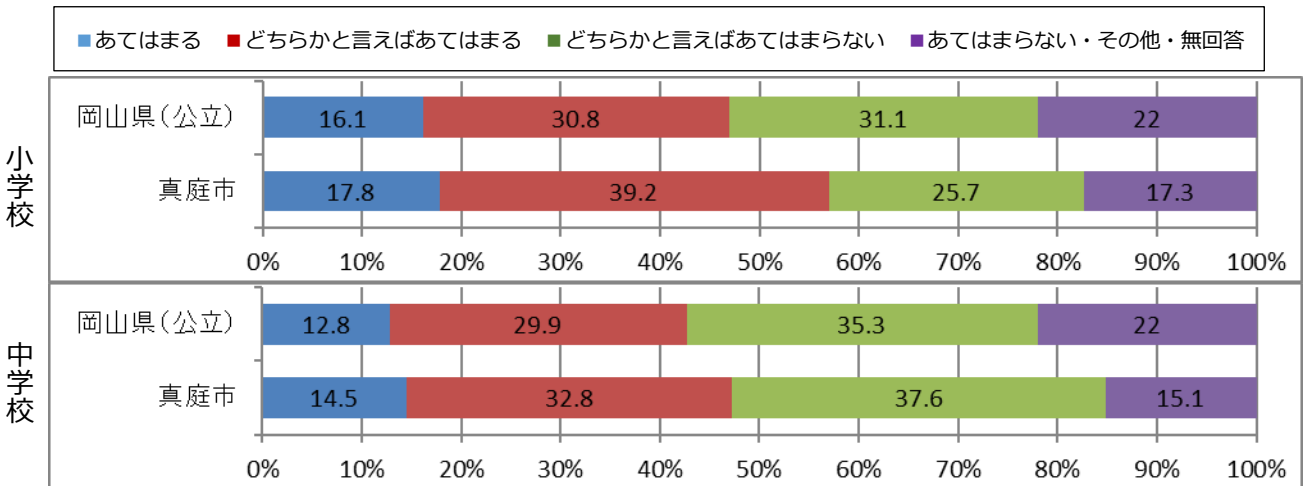
【質問項目】 将来の夢や目標を持っている



【質問項目】 自分が住んでいる地域が好きである

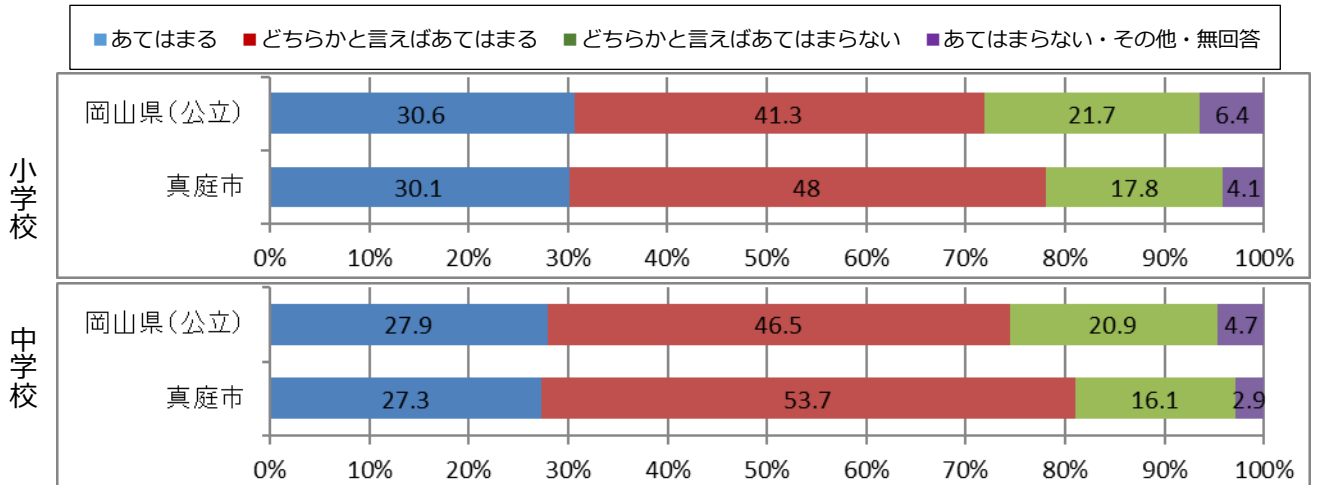


【質問項目】 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある

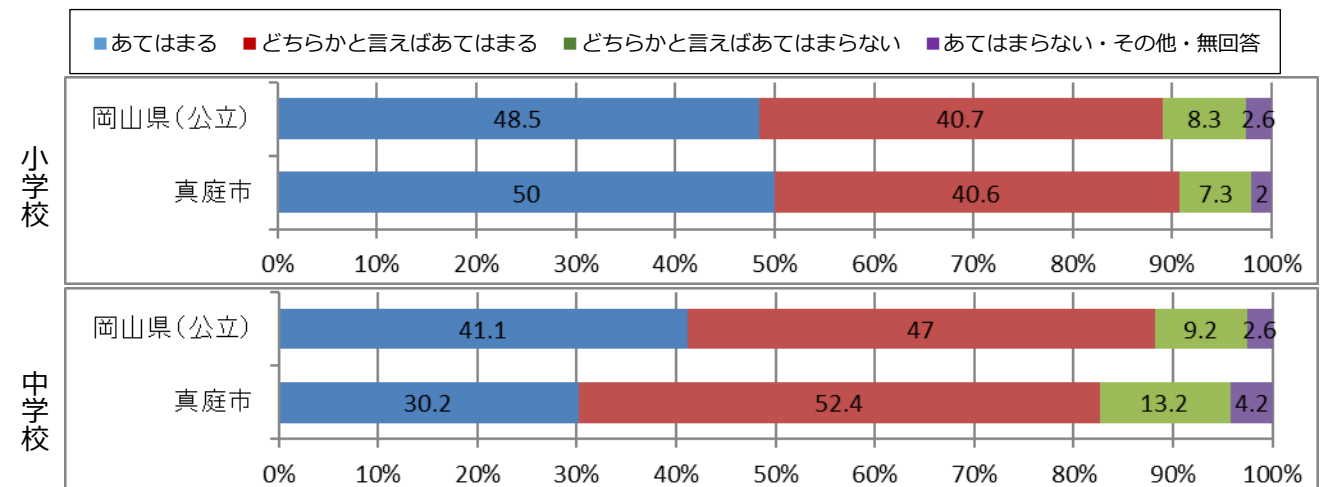


確かな学力を育む学習基盤

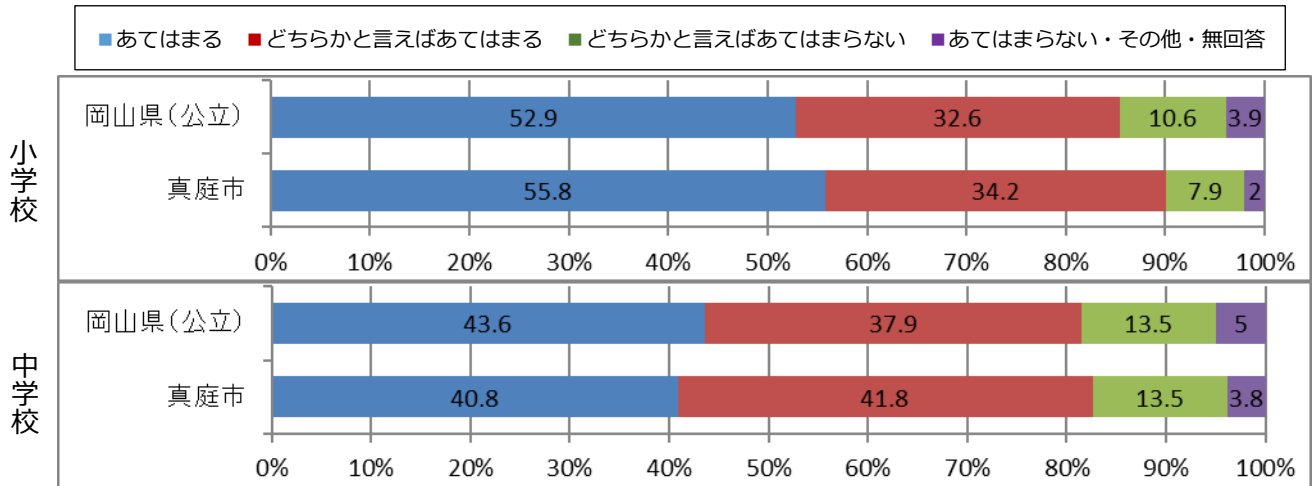
【質問項目】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う



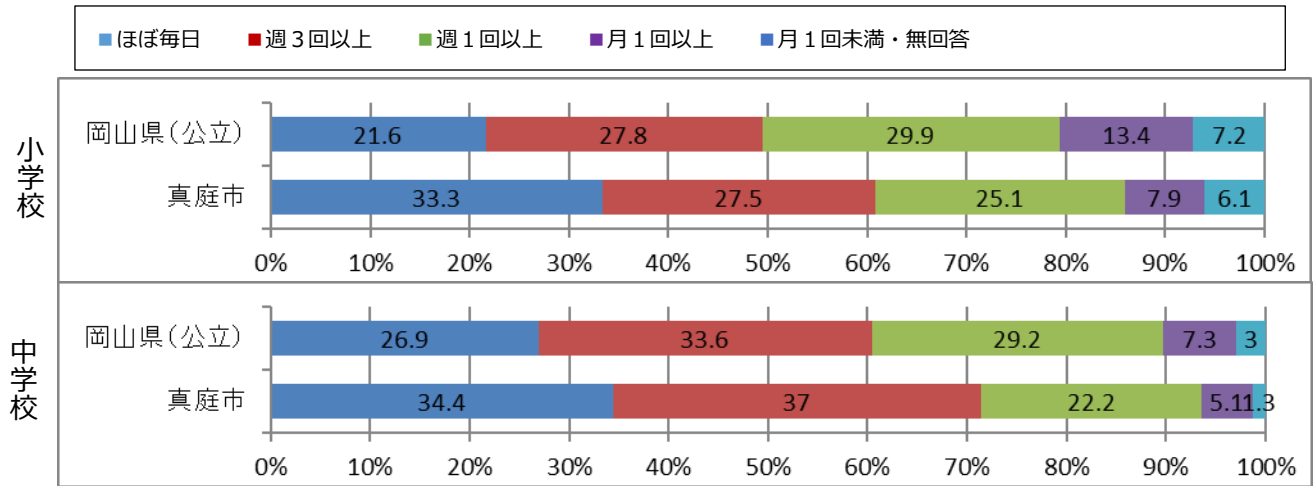
【質問項目】 国語の授業の内容はよく分かる



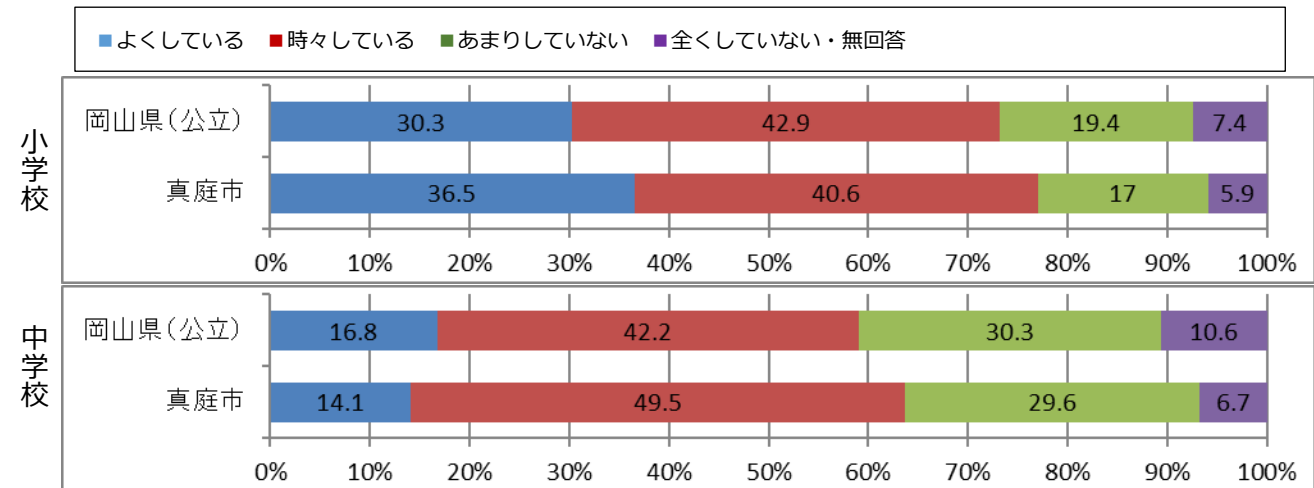
**【質問項目】 算数・数学の授業の内容はよく分かる**



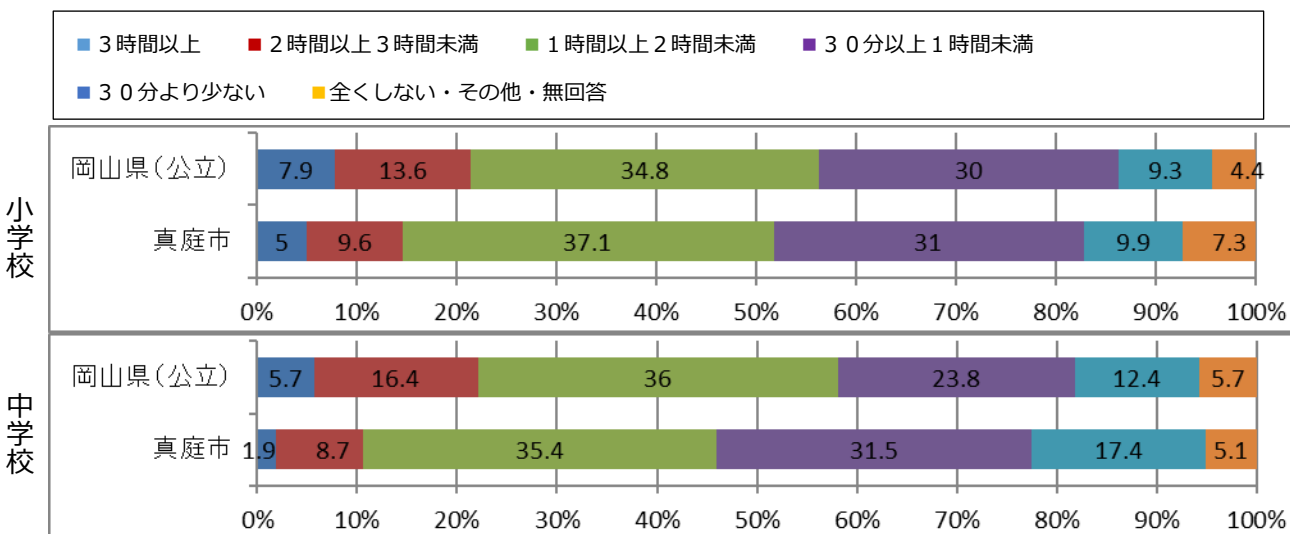
**【質問項目】 授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか**



**【質問項目】 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）。**



【質問項目】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）



IX 今後の改善の方向性	－育成すべき力に向けて－
<p>本調査の結果から、真庭市全体として、昨年度より全国平均との差は縮まったと言うことができますが、引き続き、「学習の確実な定着」と「学習習慣の定着」に課題があることが見えてきました。もちろん、本調査結果が、学校の教育活動すべての状態を表すものでも、児童生徒が身に付けるべき学力のすべてを反映するものでもありません。また、平均は全体の傾向であり、個々の実態や課題は見えてこないことは言うまでもありません。そのため、各校が自校の成果や課題を明らかにし、指導の改善に取り組むことが重要になります。</p>	
<p><b>◆市全体の改善の方向性◆</b></p>	
<p><b>1 授業改善（学習の「質」をさらに高める）</b></p> <p>児童生徒の質問紙調査から、授業理解は進んでいるため、今後は<b>授業の「質」のさらなる向上</b>に取り組めます。</p> <p>＜取組の内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①基礎基本の確実な定着を目指し、効果的な「めあて」設定や目的を持った「ふりかえり」の時間の設定を目指します。</li> <li>②ゴールイメージを児童生徒と共有し、自己決定の場を確保したり、多様な「人・もの・こと」と関わったりしながら学習の定着を目指します。</li> <li>③各種研修の場で、各校の取組を紹介し合ったり、よりよい方法について話し合ったりするなど、他校の職員との交流を図ります。</li> <li>④文房具としての1人1台端末の活用を目指し、端末を効果的に活用します。</li> </ul>	
<p><b>2 補充学習（取組の検証・改善を行う）</b></p> <p>朝学習、放課後学習、家庭学習等、児童生徒の学力の定着を図るための取組について、定期的に検証・改善を行うことに取り組めます。</p>	

### <取組の内容>

- ①管理職、学力向上担当を中心として、検証・改善サイクルの仕組みを作り、学校の取組の質の向上を図ります。
- ②学習ドリル（e-ライブラリ）の取組を推奨し、補充学習、家庭学習の充実を図ります。
- ③各校の実態に合わせた教材の開発を行ったり学習アプリを導入したりしながら、それぞれの課題解決に努めます。

### 3 郷育を核としたキャリア教育の推進

真庭市が取り組んでいる「郷育を核としたキャリア教育」の成果として、児童生徒の地域に対する誇りや愛着の醸成と共に、地域や社会への貢献意識が高まっています。今後はさらに地域や社会との連携を強めて、取組の推進をしていきます。

#### <今後の取組>

- ①R4年度に刊行した『SDGs スタートブック』を活用した取組を各校の取組状況を共有しながら推進します。
- ②総合的な学習の時間を中心に地域の魅力を発信したり課題を提案したりする活動を取り入れ、探究的な学びの推進を図ります。
- ③AR（拡張現実）を郷育の成果を発信するツールとして活用し、学校と地域が連携し協働的に学習を推進していくことができるようにします。

## X おわりに

## －真庭市の目指す学校教育に向けて－

真庭市が目指す教育の理念の実現と新学習指導要領が示す3本柱、「学びに向かう力、人間性等＝学んだことを人生や社会に生かそうとする意欲」、「知識及び技能＝実際の社会や生活で生きて働く力の土台」、「思考力・判断力・表現力など＝未知の状況にも対応できる力」の育成に向けた取組を推進する中心は学校です。しかし、学校や家庭だけで子どもの育ちを支えていくことはできません。そのため、学校を地域社会の拠点として、すべての人の協力体制のもと、子どもたちを社会全体で育てていきたいと考えています。

市民の皆様のご理解とご協力を改めてお願いいたします。